

清流が生まれる神秘の山



秘境大杉谷の深部には、日本の滝 100 選に選ばれている「七ツ釜滝」や、登頂欲をかき立てられる新名所「崩壊地」、滝壺の美しさに時を忘れる「堂倉滝」など、思わず息を飲む絶景が広がる。

富山の黒部峡谷、新潟の清津峡とともに日本三大峡谷のひとつに数えられる大杉谷。大杉谷登山道は、この雄大な峡谷を眺めながら 7 つの滝と 11 本の吊り橋を越えて行き、原生林の森を抜け大台ヶ原に至る中級登山道です。大杉谷は日本有数の多雨地帯であり、生命を生み出す水源の地でもあります。豊かな水は峡谷や滝、「窟（くら）」と呼ばれる巨大な岩壁だけでなく、世界的にも極めて豊かな生態系や生物多様性を育んでおり、ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）の核心地域として厳格な保護と長期的保全の対象となっています。

◎装備・注意事項など

●注意事項

登山道には急峻で危険な箇所も多数。無謀な登山計画は止め、十分な装備を整えて登山を。また、遭難した場合の経費は全て自己負担。万が一に備え、山岳保険（登山保険）の加入をお勧めです。

●登山届

登山者の氏名、連絡先、登山日程を記した登山届は必ず提出を。用紙および提出先は大杉谷登山センター（大杉谷自然の家）または登山口のポストにあります。また、大杉谷登山センターのホームページから用紙をダウンロードして、メールか FAX で事前に届け出することも可能。

●装備

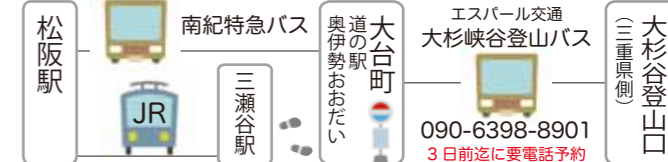
大杉谷登山道は国内でも有数の多雨地帯。レインウェア、レインカバーなど雨対策は万全に。雨の後はヒルが出やすいのでゲイター（足首のカバー）があると便利。また懐中電灯かヘッドランプを携帯しましょう。山は街より日暮れが早く、消灯が早い山小屋でも必要です。

大台ヶ原（下り登山）へのアクセス

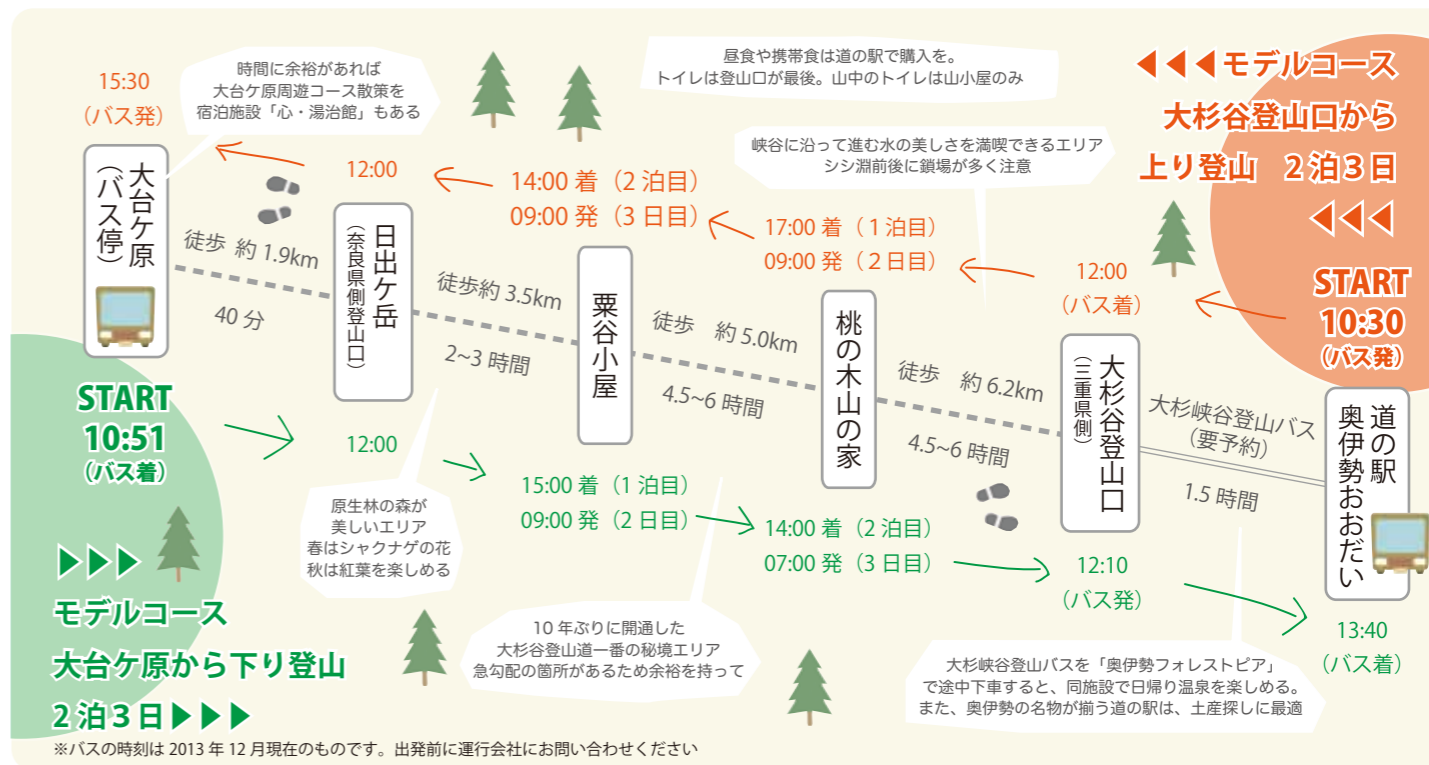


車の場合、西名阪自動車道 郡山 IC より約 87km、名阪国道針 IC より約 91km。大台ヶ原駐車場（200 台）が利用可だが、シーズンは早朝から満車になることがある。

大杉谷登山口（上り登山）へのアクセス



車では、紀勢自動車道大宮大台 IC より登山口まで約 47km。ただし駐車場（10 台程度）が少ないため、道の駅奥伊勢おおい（駐車場 50 台）からの大杉谷登山バスの利用がベスト。



※バスの時刻は 2013 年 12 月現在のものです。出発前に運行会社にお問い合わせください

山小屋紹介

安全な登山のためにもお勧めしたいのが 2 泊 3 日の山小屋泊。大杉谷山中にある 2 軒の山小屋はいずれも水洗トイレ・風呂完備と設備が充実しているため山小屋初心者でも安心して宿泊できます。

桃の木山の家

吊り橋を渡った先にある山小屋は、溪流を見下ろす佳景の立地。ヒノキ風呂のほか、夏は溪流で水浴びも楽しめる。秘境にありながら実は定員 330 名と関西最大級の山小屋。大部屋泊の他、個室（別途費用）の利用も可能。



Data
標高：約 480m
営業期間：4 月中旬～11 月下旬
定員：330 名（要予約）
宿泊料金：1 泊 2 食 9000 円
素泊まり 5500 円
弁当 1000 円
TEL：0597-32-2052
WEB：http://www.momonokigoya.jp/



栗谷小屋

日出ヶ原から約 2~3 時間の立地にある、アットホームな山小屋。標高が高いため夏でも涼しく、薪で湯を沸かした高野槇の風呂で汗を流せる。美しい夜空の星を眺めたり、オーナーとの山話も楽しい。



Data
標高：約 1160m
営業期間：4 月中旬～11 月下旬
定員：55 名（要予約）
宿泊料金：1 泊 2 食 8800 円
素泊まり 6000 円
弁当 700 円
TEL：090-1567-0010

※情報は 2015 年 8 月時点のものです。詳細は各山小屋にお問い合わせください